

見えない危険から車両を守りましょう！

## バスのフレームを錆から守る整備術

道路で使用される多量の凍結防止剤等が原因で、車両下部の床下部品に早期腐食が発生する恐れがあります。また、フレームや足回りの錆による腐食は、部品の強度を低下させ、最悪の場合、錆による板厚減少によりフレーム等の破損につながることもさえます。こうした事態を防ぐには、防錆力を確保する日常点検が不可欠です。そこで、フレームを錆から守る整備術を改めてご紹介します。



腐食による破損例



### 錆を促進する要因は

融雪塩  
(凍結防止剤)

煤煙、油煙、粉塵、  
鉄粉、石灰粉、  
火山灰など

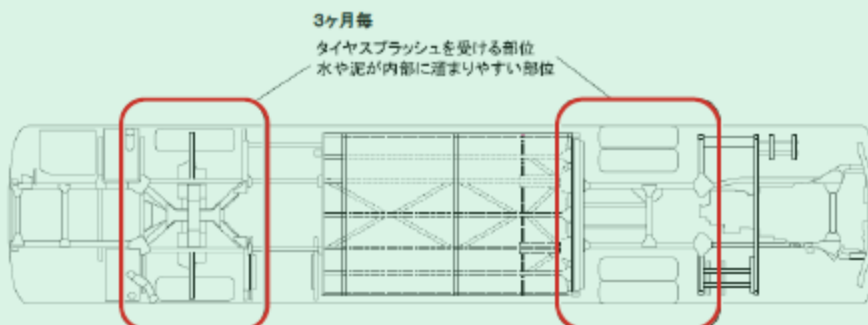
海塩粒子  
(海水、波しぶき、潮風)

樹液、鳥の糞、  
虫の死骸

飛び石

### 錆を防ぐための定期メンテナンス法は

メンテナンス時期	メンテナンス作業	部位
運行後、毎日 ※1	洗車 (床下、足廻り含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シャシ全体 (床下全面、足廻り)</li> <li>■ ボデー全体</li> </ul>
定期点検時 (3ヶ月毎)	点検 錆発生部の錆落とし 防錆塗装または防錆 WAX 塗布	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ タイヤスプラッシュを受ける部位</li> <li>■ 水や泥が溜まりやすい部位</li> </ul>
1年毎の車検時	点検 錆発生部の錆落とし 防錆塗装または防錆 WAX 塗布 床下全面に防錆塗装塗布 (錆発生が無い場合でも塗布)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上記以外の部位</li> <li>■ シャシ全体</li> </ul>
5年毎の車検時	6ヶ月毎、1年毎のメンテナンス で行き届かない角パイプや閉断面 内部に防錆 WAX 塗布 (錆がない場合でも塗布)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 角パイプや閉断面内部</li> </ul>



※1 凍結防止剤を散布した道路等を走行した後及び冬季シーズン終了後

## 洗浄方法は

- 洗浄の水は塩分を含まない水（水道水）を使用してください。
- シャシ部品に付着した凍結防止剤、泥、ホコリ等を落とすため  
 高圧洗車で洗浄してください。
- 特に、フレーム構造部材や足回り部分等、凍結防止剤が溜まり  
 易い場所は入念に洗浄してください。
- フレームで閉断面構造の部分は内部に泥、凍結防止剤、塩分等が  
 残っている場合があるので定期的に内部洗浄を行ってください。
- 洗浄後、錆のある部分は錆を除去し、洗浄後に防錆塗装を施して  
 下さい。

### 注意

高圧洗浄機で洗浄する際は、事前に取り  
 扱い説明書に記載がある高圧洗浄禁  
 止部位をご確認の上、洗浄を行って下  
 さい。また、下廻りの洗浄はくれぐれ  
 もケガをしないよう注意して下さい。

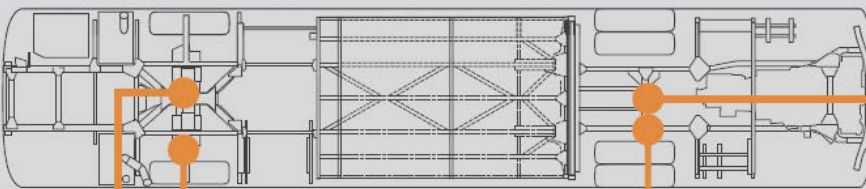
## 特に注意して定期的に確認・清掃が必要な箇所

タイヤスプラッシュを受ける部位の中でも、以下の部位は機能上重要な部位であるため注意が必要です。

- ・センターメンバ及び周辺
- ・エアスプリングブラケット
- ・ラテラルロッドブラケット
- ・リヤサポートビーム
- ・リヤアクスルハウジングカバー

点検ハンマーによる  
 点検例のビデオを参  
 照願います。

[バスの場合]



RRアクスル周り



センターメンバ部



FRエアスプリング部



RRエアスプリング部

※防錆塗装の方法、点検、補修要領の詳細につきましては「UD バス車両床下の防錆点検と補修要領」を  
 ご覧ください。

点検・整備についてご不明な点などございましたら、お近くの UD 販売会社にお問い合わせください。